

科目名	公会計				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	経営学部	配当年次	3年次
教員名	吉川 了平			単位数	2単位

授業概要／Course outline

公会計は民間部門に対する公的部門の会計として位置づけられています。国や地方公共団体等の会計が一般に「公会計」とよばれています。

本講義では、憲法的視点を基軸としつつ、企業会計との相違点を踏まえながら、公会計制度の基礎とその目的・課題を学びます。

また、地方公共団体の会計（新地方公会計制度）に焦点を当てつつ、その基本的な性格と課題を探ることとします。

あわせて、包括外部監査、住民訴訟、住民監査請求など、地方自治法上の制度を概観することを予定しています。

本講義では、地方公共団体に対する包括外部監査および企業会計的システム導入に係るコンサルティングの実務を前提とし、当該実務経験に則して具体的に会計および公会計の実務にも触れる予定です。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

授業内容・授業計画に記載のオンデマンド授業は、moodleで行う。

・実務経験のある教員による授業

本講義では、地方公共団体に対する包括外部監査および企業会計的システム導入に係るコンサルティングの実務を前提とし、公会計の課題を探るとともに、当該実務経験に則して具体的に会計および公会計の実務も教えることとしている。

授業内容・授業計画／Course description・plan

授業内容および授業計画は、基本的にはつぎのとおり予定しています。なお、状況にあわせて、随時変更する可能性があります。各講義のキーとなる事項は、つぎのとおりです。

1～2. 日本の財政状況と問題点

日本の財政について。我が国の公債残高は、年々増加の一途をたどっています。2022年度末の国・地方の債務残高は1,212兆円に上ると見込まれています。この数値が持つ意味（会計的意味）について考えていきます。

3. 公会計と憲法その1

公会計の意味ないし目的について、わが国憲法、とりわけ「人権」との関わり合いを紐解きながら考えていきます。

4. 公会計と憲法その2

公会計が憲法上どのように位置づけられているのか、「財政」および「三権分立」との関わり合いから検討していきます。

5～6. 公会計の基本 その1

地方公会計について、憲法における「地方自治」の位置づけ、地方自治法の視点から検討します。

7～8. 公会計の基本 その2

一般会計、特別会計、会計報告、会計と議会との関係、会計情報のチェック機能について説明します。公会計の流れ、単年度主義、出納整理期間について説明します。

9. 公会計の基本 その3

会計情報の活用方法、公会計の問題点について説明します。

10～11. 新地方公会計制度 その1

新地方公会計制度の概要、必要性、目的について説明します。

12～13. 新地方公会計制度 その2

財務書類、貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、財務書類4表、新地方公会計制度の課題について説明します。

14. 予算会計制度の課題と改革への取り組み、期末試験

NPMによるマネジメント・サイクル、予算・財政マネジメントの比較、予算のPDCAサイクルについて説明します。

★. オンデマンド：期末試験の解説

期末試験の翌週に解説動画(約90分)をmoodleで配信する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

随時、講義でご案内します。必ず該当箇所を通読してから講義に参加するようにしてください。

※事前学習は各授業について2時間、事後学習も各授業2時間必要です。内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行ってください。

ぜひ事前学習においては「キーワード」を少なくとも3つ選定して、講義に参加されてください。事後学習においては、講義中ご説明したキーワードを中心に、振り返りを行うようにしてください。

1～2. 日本の財政状況と問題点

【事前学習】

https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12319061/www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202204.html

https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12319061/www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202204_zaisei.pdf

をダウンロードしておくこと。

【事後学習】

講義の内容を復習し、ノートに簡潔にまとめておくこと。

3. 公会計と憲法 その1

【事前学習】

憲法を熟読しておくこと。

【事後学習】

講義の内容を復習し、ノートに簡潔にまとめておくこと。

4. 公会計と憲法 その2

【事前学習】

憲法を熟読しておくこと。

【事後学習】

講義の内容を復習し、ノートに簡潔にまとめておくこと。

5～6. 公会計の基本 その1

【事前学習】

テキスト該当箇所（講義内にてアナウンスします）を熟読しておくこと。

【事後学習】

講義の内容を復習し、ノートに簡潔にまとめておくこと。

7～8. 公会計の基本 その2

【事前学習】

テキスト該当箇所（同上）を熟読しておくこと。

【事後学習】

講義の内容を復習し、ノートに簡潔にまとめておくこと。

9. 公会計の基本 その3

【事前学習】

テキスト該当箇所（同上）を熟読しておくこと。

【事後学習】

講義の内容を復習し、ノートに簡潔にまとめておくこと。

10～11. 新地方公会計制度 その1

【事前学習】

テキスト該当箇所（同上）を熟読しておくこと。

<https://www.soumu.go.jp/iken/kokaikei/>

を利用予定です。

【事後学習】

講義の内容を復習し、ノートに簡潔にまとめておくこと。

12～13. 新地方公会計制度 その2

【事前学習】

テキスト該当箇所（同上）を熟読しておくこと。

<https://www.soumu.go.jp/iken/kokaikei/>

を利用予定です。

【事後学習】

講義の内容を復習し、ノートに簡潔にまとめておくこと。

14. 予算会計制度の課題と改革への取り組み

【事前学習】

テキスト該当箇所（同上）を熟読しておくこと。

【事後学習】

講義の内容を復習し、ノートに簡潔にまとめておくこと。

★. オンデマンド

【事前学習】

これまでの講義を十分に復習し、大切な点を要約しておくこと。

【事後学習】

これまでの講義と考査を振り返り、ご自身の将来に関わるなにかをノートにコメントしておくこと。

授業の到達目標/Expected outcome

授業の到達目標は、公会計制度の概要と基本的性格を理解するとともに、公会計制度を巡る様々な問題点を抽出し検討ができるようになることです。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- ・ 思考力 専門知識・専門技能
- ・ 幅広い教養 【経営学部 マネジメント学科】
 - ・ アカウンタビリティとガバナンスの基礎知識
 - ・ 実践的なマネジメント力

履修上の注意/Special notes, cautions

企業会計についての基本的な理解があることを前提に、講義を進めます。企業会計や簿記についての解説は、他の講義で習得されるようにしてください。

また、他の学生が真摯に学習する権利を保障するために、私語は一切禁止するとともに、厳しく対処します。私語が必要な場合は、教室からの自由な退室を認めます。他方、私語がなされた場合、事前の注意や予告なく、その場で出席番号と名前を確認するとともに、平常点および期末試験での評価をともに0として扱います。

以上の点に留意されて、履修登録をなさってください。

評価方法/Evaluation

評価は期末試験（講義最終日、あるいはその前の回に行う可能性があります）の点数によります。ただし、状況に鑑みて平常点（レポート等）を評価に加算することにします。

なお、出席それ自体のみについては評価対象とせず、また、私語をなした者については、事情にかかわらず、0点評価とします。

- ・ 定期試験（筆記試験）100%

教材/Text and materials

教材は、講義開始日までに学習支援システムmoodleに掲載予定です

質問や相談の方法／Instructor contact

講義終了後、あるいはメールにて。